

別表 1-2 (改訂)

教育課程

[履修要領]

1. 必履修の各教科・科目を含め、各教科に属する科目及び総合的な学習の時間の単位数の計は、74単位以上とし、それぞれ履修し、修得しなければならない。
ただし、履修できる単位数は、1年次生では32単位以内、2年次生では既修得単位を通算して64単位以内とする。
2. I・IIのある各教科・科目については、Iを履修しなければIIを履修することはできない。
3. 他の高等学校において履修し、修得済みの各教科・科目をもって、本校での履修・修得に替えることができる。
4. 以上は、学則第25条及び第26条により、本校において履修・修得したものとみなされる各教科・科目を含むものとする。
5. 他の高等学校での在学期間を通算し、履修期間は3年以上とする。

<必履修の教科・科目、単位>

1. 次の表の各教科・科目は必履修とし、すべての生徒が履修せねばならない。
2. 履修単位数は、次の表の単位数を下ってはならない。

教科	科目	履修単位数	
国語	国語総合	4	
地理歴史	世界史A	2	このうちから1科目
	日本史B	4	
	地理B	4	
公民	現代社会	2	「現代社会」または「倫理」・「政治・経済」
	倫理	2	
	政治・経済	2	
数学	数学 I	3	
理科	科学と人間生活	2	
	生物基礎	2	
保健体育	体育	7	
	保健	2	
芸術	美術 I	2	このうちから1科目
	書道 I	2	
外国語	コミュニケーション英語 I	3	

家庭	家庭総合	4	
情報	社会と情報	2	
総合的な学習の時間		3	

3. 他において履修済みの教科・科目のうち、次の表の教科・科目は、本校における必修教科・科目の履修に替えることができる。

教科	他において履修済みの科目	代替できる科目
地理歴史	世界史B	世界史A
	日本史A	日本史B
	地理A	地理B
理科	物理基礎・化学基礎・地学基礎のいずれか	生物基礎
芸術	音楽Ⅰ・工芸Ⅰのいずれか	美術Ⅰ・書道Ⅰのいずれか
家庭	家庭基礎・生活デザインのいずれか	家庭総合
情報	情報の科学	社会と情報

<選択履修の教科・科目、単位>

1. 次の表の各教科・科目は、選択履修するものとする。
2. 専門に関する教科・科目の履修は24単位以内とする。

[一般生用]

教科	科目	履修単位数	
国語	国語表現	3	
	現代文B	4	
	古典B	4	
	日本語基礎	2	
地歴	日本史B	4	このうち選択必修で選択履修しなかった1科目
	地理B	4	
公民	現代社会	2	このうち選択必修で選択履修しなかった区分の科目
	倫理	2	
	政治・経済	2	
数学	数学A	2	
	数学B	2	
理科	理科課題研究	1	
	地学基礎	2	
	化学基礎	2	

芸術	美術Ⅰ	2	このうち選択必修で選択履修しなかつた1科目
	書道Ⅰ	2	
	コミュニケーション英語基礎	2	
	コミュニケーション英語Ⅱ	4	

[技能連携生用]

商業実務コース			工業技術コース		
			機械・電気・自動車・建築・土木・化学・デザイン		
教科	科目	単位数	教科	科目	単位数
商業	ビジネス基礎	2～6	工業	工業技術基礎	2～6
	課題研究	2～10		課題研究	2～10
	総合実践	2～6		実習	2～10
	ビジネス実務	2～6		製図	2～6
	マーケティング	2～6		工業数理基礎	2～6
	商品開発	2～6		情報技術基礎	2～6
	広告と販売促進	2～6		材料技術基礎	2～6
	ビジネス経済	2～6		生産システム技術	2～6
	ビジネス経済応用	2～6		工業技術英語	2～6
	経済活動と法	2～6		工業管理技術	2～6
	簿記	2～6		環境工学基礎	2～6
	財務会計Ⅰ	2～6		機械工作	2～6
	財務会計Ⅱ	2～6		機械設計	2～6
	原価計算	2～6		原動機	2～6
	管理会計	2～6		電子機械	2～6
	情報処理	2～6		電子機械応用	2～6
	ビジネス情報	2～6		自動車工学	2～6
	電子商取引	2～6		自動車整備	2～6
	プログラミング	2～6		電気基礎	2～6
	ビジネス情報管理	2～6		電気機器	2～6
				電力技術	2～6
				電子技術	2～6
				電子回路	2～6
				電子計測制御	2～6
				通信技術	2～6

			電子情報技術	2～6
			プログラミング技術	2～6
			ハードウェア技術	2～6
			ソフトウェア技術	2～6
			コンピュータシステム技術	2～6
			建築構造	2～6
			建築計画	2～6
			建築構造設計	2～6
			建築施工	2～6
			建築法規	2～6
			設備計画	2～6
			空気調和設備	2～6
			衛生・防災設備	2～6
			測量	2～6
			土木基礎力学	2～6
			土木構造設計	2～6
			土木施工	2～6
			社会基盤工学	2～6
			工業化学	2～6
			化学工学	2～6
			地球環境化学	2～6
			材料製造技術	2～6
			工業材料	2～6
			材料加工	2～6
			セラミック化学	2～6
			セラミック技術	2～6
			セラミック工業	2～6
			繊維製品	2～6
			繊維・染色技術	2～6
			染織デザイン	2～6
			インテリア計画	2～6
			インテリア装備	2～6
			インテリアエレメント生産	2～6
			デザイン技術	2～6
			デザイン材料	2～6

			デザイン史	2～6
--	--	--	-------	-----

家政・調理コース			芸術コース		
服飾・保育・調理・美容・理容			音楽・美術		
教科	科目	単位数	教科	科目	単位数
家庭	生活産業基礎	2～6	音楽	音楽理論	2～6
	課題研究	2～10		音楽史	2～6
	生活産業情報	2～6		演奏研究	2～10
	消費生活	2～6		ソルフェージュ	2～6
	子どもの発達と保育	2～6		声楽	2～6
	子ども文化	2～6		器楽	2～6
	生活と福祉	2～6		作曲	2～6
	リビングデザイン	2～6		鑑賞研究	2～10
	服飾文化	2～6	美術	美術概論	2～6
	ファッション造形基礎	2～6		美術史	2～6
	ファッション造形	2～6		素描	2～6
	ファッションデザイン	2～6		構成	2～6
	服飾手芸	2～6		絵画	2～6
	フードデザイン	2～6		版画	2～6
	食文化	2～6		彫刻	2～6
	調理	2～20		ビジュアルデザイン	2～6
	栄養	2～6		クラフトデザイン	2～6
	食品	2～6		情報メディアデザイン	2～6
	食品衛生	2～6		映像表現	2～6
	公衆衛生	2～6		環境造形	2～6
学校設定	学校設定			鑑賞研究	2～10
美容	美容関係法規・制度	1～3			
	衛生管理	2～6			
	美容保健	2～6			
	美容物理・化学	2～6			
	美容文化論	2～6			
	美容技術理論	2～6			
	美容運営管理	2～6			
	美容実習	2～20			

	日本語	1～3			
	外国語	1～3			
	エステティック技術	2～6			
	美容カウンセリング	2～6			
	メイクアップ	2～6			
	美容総合技術	2～6			
学校設定	学校設定				
理容	理容関係法規・制度	1～3			
	衛生管理	2～6			
	理容保健	2～6			
	理容物理・化学	2～6			
	理容文化論	2～6			
	理容技術理論	2～6			
	理容運営管理	2～6			
	理容実習	2～20			
	日本語	1～3			
	外国語	1～3			
	エステティック技術	2～6			
	美容カウンセリング	2～6			
	メイクアップ	2～6			
	美容総合技術	2～6			

看護・福祉コース			総合コース		
看護・福祉			情報・体育・英語		
教科	科目	単位数	教科	科目	単位数
看護	基礎看護	2～6	情報	情報産業と社会	2～6
	人体と看護	2～6		課題研究	2～10
	疾病と看護	2～6		情報の表現と管理	2～6
	生活と看護	2～6		情報と問題解決	2～6
	成人看護	2～6		情報テクノロジー	2～6
	老年看護	2～6		アルゴリズムとプログラム	2～6
	精神看護	2～6		ネットワークシステム	2～6
	在宅看護	2～6		データベース	2～6

	母性看護	2～6		情報システム実習	2～20
	小児看護	2～6		情報メディア	2～6
	看護の統合と実践	2～6		情報デザイン	2～6
	看護臨地実習	2～20		表現メディアの編集と表現	2～6
	介護情報活用	2～6		情報コンテンツ実習	2～20
福祉	社会福祉基礎	2～6	体育	スポーツ概論	2～6
	介護福祉基礎	2～6		スポーツⅠ	2～6
	コミュニケーション技術	2～6		スポーツⅡ	2～6
	生活支援技術	2～6		スポーツⅢ	2～6
	介護過程	2～6		スポーツⅣ	2～6
	介護総合演習	2～6		スポーツⅤ	2～6
	介護実習	2～20		スポーツⅥ	2～6
	こころとからだの理解	2～6		スポーツ総合演習	2～6
	福祉情報活用	2～6	英語	総合英語	2～6
				英語理解	2～6
				英語表現	2～6
				異文化理解	2～6
				時事英語	2～6

<特別活動 各コース共通>

1. 特別活動には、ホームルーム・学校行事（儀式的行事・文化的行事・体育的行事）があり、毎年別に計画し実施する。
2. 特別活動には、在学期間を通算して30時間以上参加しなければならない。

別表 2-2 (改訂)

面接指導時間数及び添削指導回数表

教科	科目	単位数	添削指導		面接指導	
			1 単位当たり 添削指導回 数	添削指導回 数	1 単位当た り面接指導 時間数	面接指導時 間数
国語	国語総合	4	3	12	1	4
	国語表現	3	3	9	1	3
	現代文 B	4	3	12	1	4
	古典 B	4	3	12	1	4
	日本語基礎	2	3	6	1	2
地理歴史	世界史 A	2	3	6	1	2
	日本史 B	4	3	12	1	4
	地理 B	4	3	12	1	4
公民	現代社会	2	3	6	1	2
	倫理	2	3	6	1	2
	政治・経済	2	3	6	1	2
数学	数学 I	3	3	9	1	3
	数学 A	2	3	6	1	2
	数学 B	2	3	6	1	2
理科	科学と人間生活	2	3	6	4	8
	生物基礎	2	3	6	4	8
	化学基礎	2	3	6	4	8
	地学基礎	2	3	6	4	8
	理科課題研究	1	3	3	4	4
保健体育	体育(α)	3	1	3	5	15
	体育(β)	2	1	2	5	10
	体育(γ)	2	1	2	5	10
	保健	2	3	6	1	2
芸術	美術 I	2	3	6	4	8
	書道 I	2	3	6	4	8
外国語	コミュニケーション英語基礎	2	3	6	4	8
	コミュニケーション英語 I	3	3	9	4	12
	コミュニケーション英語 II	4	3	12	4	16
家庭	家庭総合	4	2	8	2	8

情報	社会と情報	2	2	4	2	4
----	-------	---	---	---	---	---

総合的な学習の時間		3	1	3	2	6
-----------	--	---	---	---	---	---